

信号変換基板 取扱説明書

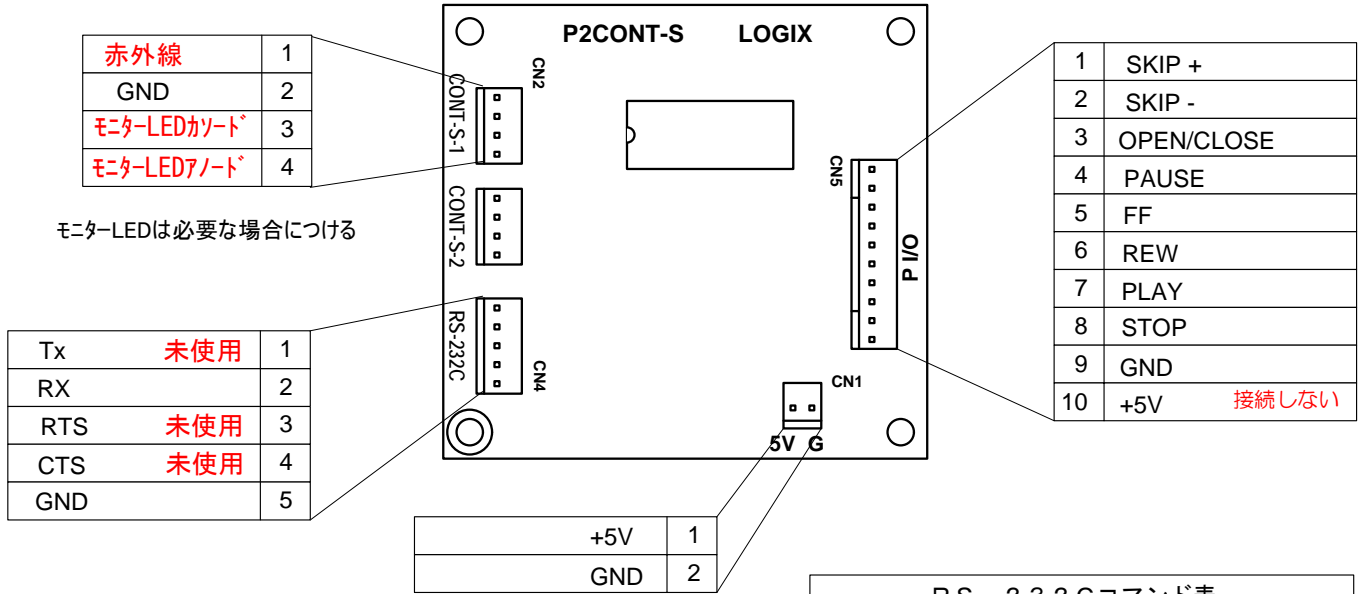
パラレル&RS232C→赤外線変換基板
パイオニア DVD DLV-919 用

(有) ロジックス

857-0055
長崎県佐世保市湊町2-15 E-mail : logix@lgx.co.jp
電話 : 0956-25-3963
FAX : 0956-25-3964

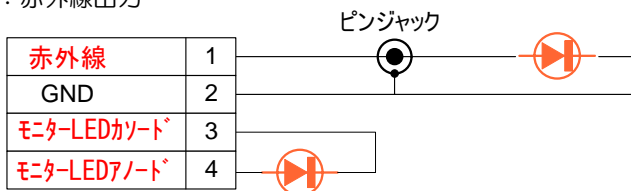
WebPage : www.lgx.co.jp

この変換基板は基板上の1チップマイコンのプログラムを調整することで、その機能を実現しています。入出力の仕様は下記のとおりです。電源、および信号の極性には十分注意して配線してください。注意点として、パラレル入力の信号線の長さは1M以内(できるだけ短く)、RS-232C信号は15M以内で使用してください。この長さは使用する環境により、左右されます。

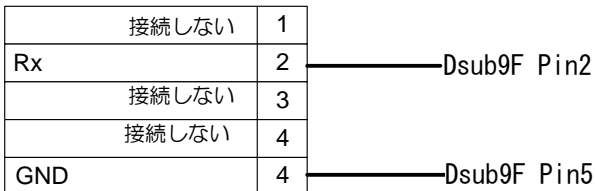


CN1 : 電源入力 安定化されたDC 5Vを入力します
(消費電力 : 10mA以下)

CN2 : 赤外線出力



CN4 : RS-232C入力



CN5 : パラレルコントロール入力



これらの端子をGNDに接続すると、該当す赤外線信号が出力されます。この信号はグラウンドにショートしている間、出力されます。同時に複数選択することは禁止です。

コマンド名	上位4BIT	下位4BIT	キャラクタ
STOP	0x5	0x1	Q
PLAY	0x5	0x2	R
REW	0x5	0x3	S
FF	0x5	0x4	T
PAUSE	0x5	0x5	U
OPEN/CLOSE	0x5	0x6	V
SKIP -	0x5	0x7	W
SKIP +	0x5	0x8	X